

甲賀・湖南メーデーが開催される

5月1日第95回甲賀・湖南メーデーが水口公園で開催され、各種団体から60人が参加しました。日本共産党甲賀市議員団の山岡光広、岡田重美、西山実の議員が参加し、連帯のあいさつなどを行いました。集会の後、あいみらい保育園前を經由して、甲賀合同庁舎までデモ行進を行いました。



集会では、参加団体を代表してのあいさつがあり、長引く物価高騰による実質賃金の低下が続く、格差と貧困が広がり、くらしの厳しさが増す中、「物価高騰を上回る大幅賃上げ・底上げで生活改善をはかり、ジェンダー平等の観点から均等待遇と格差是正をめぐす」「武器輸出と大軍拡・大増税をやめさせ、徹底した平和外交を」「防災予算の拡充、中小企業と営農の支援、食料自給率の向上」などのメーデー宣言を採択しました。

■草津甲賀民商

コロナ禍以後、売り上げが落ち込み、この間の資材、燃料費の高騰で厳しい。その上に10月からインボイスが実行。消費税の引き下げこそ必要。

■原発からの撤退を求め る湖南市民の会

原発をコントロールする力を人類は持ち合わせていない。事故が起きたら、大人も子供も被害にあって。みなさんと力を合わせて原発のない社会を目指して頑張っていきたい。

■年金者組合湖南支部

高齢者が免許証を返納される中、運転手が不足なことで、地方のコミバス、路線バスが大きく減便されている。買い物・病院の足を守る。

■甲賀市平和委員会

5年間で43兆円もの大軍拡で攻撃能力を保有する。この大軍拡により、暮らした平和が脅かされるのは間違いない。皆さんと連帯して、戦争への道を食い止めよう。

■戦争させない甲賀市民の会

4月10日の岸田総理とバイデン大統領との共同声明では、有事に対して日本の自衛隊が実質的に米軍の指揮統制下に組み込まれる。日本国民の命や自由や幸福追求の権利を守る安全保障政策ならば、日本国憲法に沿った平和外交、専守防衛に。

■国民救援会甲賀支部

国民救援会は無実の罪で捕まった人達を救う活動を行っている。県内では日野町事件と湖東記念病院事件が争われている。

■甲賀湖南母親連絡会

母親大会のスローガンは命を生み出す母親は、命を育て、命を守ることを望みます。子供を二度と戦争にとられたくない。

■甲賀市生活と健康を守る会

人間らしく生きること、生存圏の保証を求めて、県や自治体に要求をして、暮らしに役立つ制度に改善してきた。

5月4日市役所前にて「もう黙ってられない怒りの集い」100回目を開催。山岡光広議員、岡田重美議員も参加して政治を変えようと訴えました。



6月議会日程

- 6月 5日 (水) 本会議・議案説明
- 6月13日 (水) 本会議・議案質疑
- 6月14日 (金) ~19日 (水) 一般質問
- 6月20日 (木) ~25日 (火) 常任委員会
- 6月28日 (金) 本会議・質疑・採決

※5月29日正午、請願書締め切りです。みなさんのご意見・ご要望をお寄せください。

大企業中心とアメリカ言いなりの政治を変えよう

快晴の5月5日午後、衆院滋賀三区国政対策委員長・佐藤こうへいさんを先頭に、甲賀市内18か所で宣伝を行い、「裏金・企業献金と縁のない日本共産党を伸ばしていただき、力を合わせて大企業中心とアメリカ言いなりの自民党政治を大元から変えよう。一緒に食と農を守る新しい政治を実現させよう」と呼びかけました。また、裏金問題をスクープした、しんぶん赤旗の購読を呼びかけました。



佐藤こうへいさんは、「いま憲法9条が踏みじられてる。岸田首相がアメリカを訪問して、米軍と自衛隊のシームレスな統合として、アメリカ軍と一体に活動することを約束。アメリカの戦争に駆り出され、アメリカの指揮命令の中で自衛隊が攻撃に参加する。こんな危険な道は絶対に許すわけにはいかな

い。日本がアメリカとの軍事同盟を強め、軍事費の2倍化など軍事力を強化すれば、周辺諸国も軍備を拡大することになり、対立緊張がエスカレートすれば、戦争の火種を作ることになる。今必要なのは戦争の準備ではなく、外交の徹底と対話による平和協力の関係をつくる平和の準備」と力強く訴えました。

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2024年 5月 12日 第494号



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
Tel 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
Tel 62-3044
Fax 62-3044